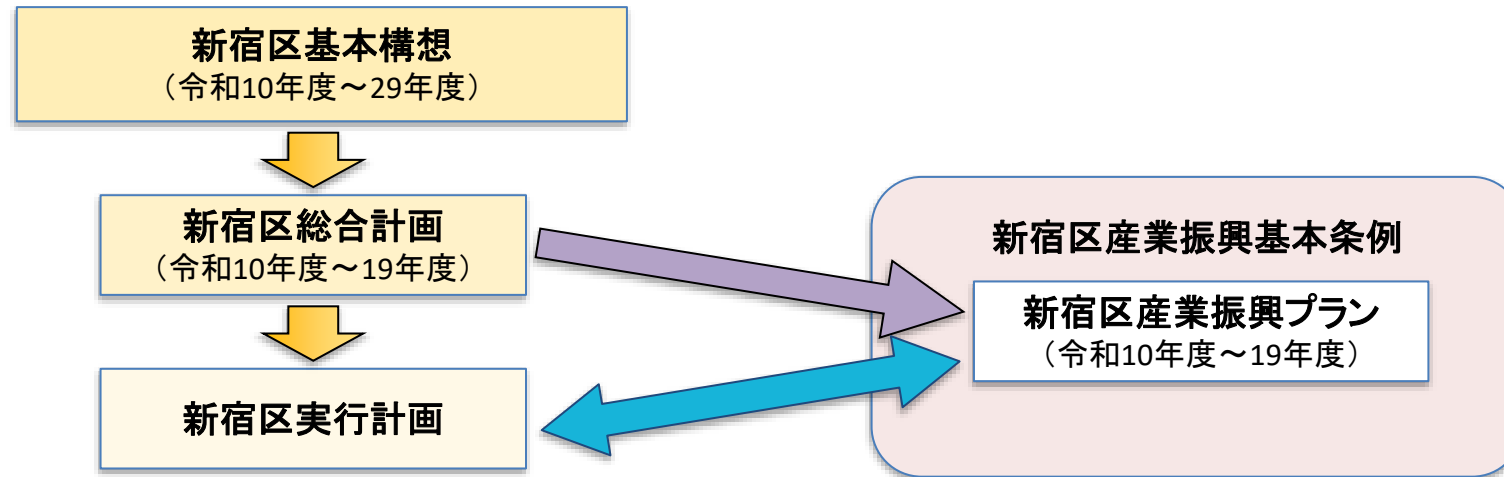


1 計画の位置づけ

本プランは、新宿区産業振興基本条例に基づき、区の産業振興に関する基本的な方向性を示すものであり、上位計画である新たな基本構想及び総合計画との整合を図りながら策定するものである。計画期間については、総合計画に合わせ令和10年度から令和19年度までとする。



2 目的

区内事業者の持続的な発展と地域経済の活性化を図り、新たな価値創出を通じて区民生活の向上と既存企業の成長につなげることを目的とする。そのうえで、新宿の地域性や産業集積地である都市としての強みを活かし、持続可能な産業発展構造の構築を目指すとともに、新たな視点として創業支援・スタートアップの創出・誘致を推進する。

産業振興プランの策定について

3 現行プランの各施策の進捗状況

7つの施策	進捗状況
価値創造に向けた積極的な事業活動の推進	新製品の開発、販路開拓、新たな事業の創出等の取組を支援してきた。引き続き、経営サポート事業の経営相談等により、事業革新や新たな価値創造に向けて支援する必要がある。
経営基盤の強化支援	令和7年度から経営サポート事業を開始し、変動する社会経済情勢に的確に対応するため、伴走支援による経営基盤強化の体制を構築しており、引き続き経営支援を推進する必要がある。
発展的な事業承継の促進	セミナー、個別相談会、パンフレット作成、経営相談など多様な方策による事業承継の支援に取り組んでおり、引き続き推進する必要がある。
創業へのチャレンジ支援	高田馬場創業支援センターとBIZ新宿での多様な支援メニューやビジネスプランコンテストの開催により、創業支援に取り組んできた。同センターの廃止と合わせ、令和9年度以降に創業支援施策を再構築し、スモールビジネス、スタートアップそれぞれの事業特性に応じた取組を推進していく。
ICTを活用した事業展開支援	経営サポート事業の経営相談やセミナー等によりICT等の導入支援を推進しており、引き続き、人手不足やコスト高にも対応するため、DX化、業務効率化を支援する必要がある。
来街者の増加を好機とした事業展開支援	令和7年度に新宿逸品を新たな認定制度に刷新し、新宿の魅力発信、新宿ブランドの向上に向けた取組を強化しており、引き続き、来街者の回遊性向上に向けて取り組む必要がある。
商店街の魅力アップ支援	商店会イベントの支援、商品券事業、商店会情報誌の発行等の取組を通じて、商店街の活性化を進めており、引き続き、商店街の持続的な発展、魅力向上の取組を支援する必要がある。

4 新プラン策定にあたっての視点

現行プランの取組を踏まえつつ、より実効性の高いプランとするため、次期プランでは以下の視点を重視して策定する。

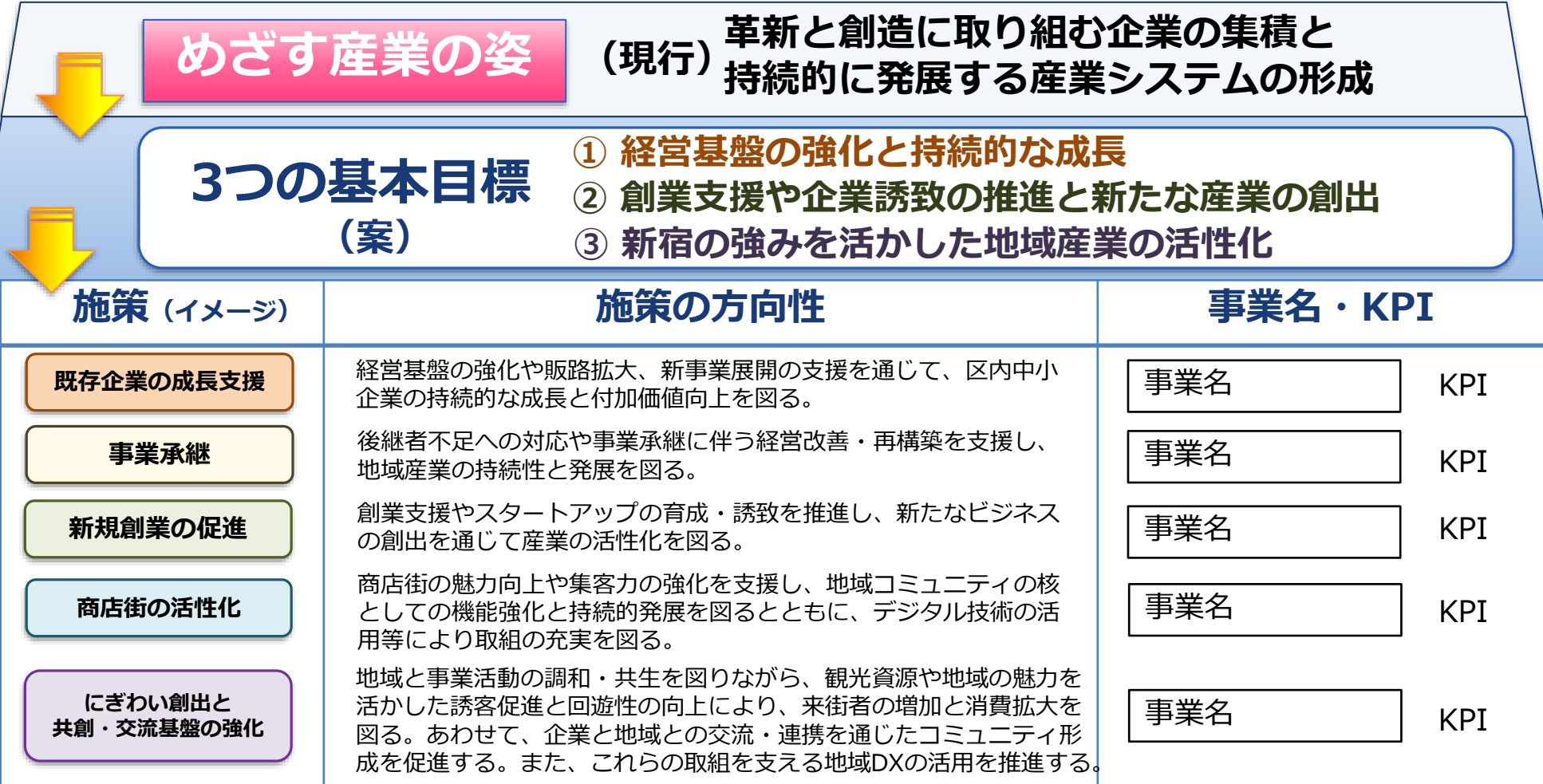
- ①新宿の特性を踏まえた戦略性の視点：新宿の産業集積や都市特性を踏まえ、将来を見据えた重点的な取り組み領域を明確化し、地域の強みを活かした戦略的な産業振興を推進する。
- ②施策の整理と整合・連携の視点：分野別の整理に加え、3つの基本目標を軸に施策を再整理し、目標に基づく取組として位置付けるとともに、整合・連携を図る。
- ③成果の可視化と検証の視点：成果指標（KPI）を設定し、検証・評価の仕組みを導入する。

産業振興プランの策定について

5 新プランの方針

現行プランでは、施策が分野ごとに整理され、各分野に応じた支援が展開されてきた。一方で、施策全体としての方向性や重点が見えにくい側面もあった。

このため、次期プランでは、新宿区の「めざす産業の姿」のもとに新宿の特性を踏まえた3つの基本目標を設定し、施策をそれぞれの目標の実現に向けた取組として整理することで、施策間の連携や整合を図りながら新宿区の産業振興を推進する。



産業振興プランの策定について

6 産業実態調査の実施

次期産業振興プランの策定にあたり、区内事業者及び商店会の現状と課題を把握し、実効性の高い施策の検討に資する基礎資料とするため、産業実態調査を実施する。

なお、調査内容等については、産業振興会議で検討のうえ確定する。

【調査概要】

■ 特徴

- ・ 前回調査との比較により経年変化を把握
- ・ コロナ後の事業環境（人手不足、物価高等）を反映
- ・ 定量・定性の両面から実態を把握

■ 実施時期

- ・ 令和8年9～10月

■ 対象

- ・ 区内に本所（社・店）を有する企業及び単独事業所（約24,000社）
- ・ 区内商店会（100商店会）

■ 方法

- ・ 調査書を郵送配布
- ・ 郵送/Web/FAXにより回収

■ 内容

- ・ 経営状況（売上、課題等）
- ・ 人材確保・事業承継の状況
- ・ デジタル化・DXの取組状況
- ・ 行政施策の利用状況・ニーズ

※このアンケート調査のほか、産業経済団体等へのヒアリング調査も実施する

調査結果は、区内産業の現状分析及び課題整理に活用するとともに、3つの基本目標を始め、施策や施策の方向性等に反映する。また、プラン策定後の施策評価・見直しの基礎データとして活用する。

産業振興プランの策定について

7 新プランの構成

■ 第1章 プランの基本事項

- ・ 背景・目的
- ・ 計画期間
- ・ 位置づけ
- ・ 本プランの特徴

■ 第2章 産業を取り巻く環境と新宿の特性

- ・ 社会経済動向（DX・人材不足・グローバル化など）
- ・ 新宿区の産業構造・強み（多様性・集積・インバウンド等）

※過去10年の動向と将来見通しを踏まえた分析等

■ 第3章 区内産業の現状と課題

- ・ 事業者の課題（成長・承継・人材など）
- ・ 産業構造の課題
- ・ 施策上の課題

■ 第4章 めざす産業の姿と3つの基本目標

- ・ めざす産業の姿
- ・ 3つの基本目標
- ・ 3つの基本目標の考え方

■ 第5章 施策体系

- ・ 施策体系図（具体的な実施事業も明記）

■ 第6章 具体施策（目標別に整理）

例）

- ・ 経営基盤の強化と持続的な成長
現状と課題
施策体系
主な取組
成果指標
- ・ 創業支援や企業誘致の推進による新たな産業の創出
（同様）
- ・ 新宿の強みを活かした地域産業の活性化
（同様）

■ 第7章 推進体制と進行管理

- ・ 推進体制（庁内・外部連携）
- ・ KPI・評価
- ・ PDCA

産業振興プランの策定について

8 手順・スケジュール

	令和8年度												令和9年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
産業振興 会議	●第8期第4回会議 (新プランの概要、方針案の検討) (調査項目の検討)												●第8期第6回会議 (調査結果の確認) (プラン骨子の検討)											
	●第8期第5回会議 (現行プランの評価) (調査項目の確定)												●第8期第7回会議 (調査報告書の確認) (プラン素案の検討)											
													●第8期第8回会議 (プラン原案の検討)											
													●第9期第2回会議 (パブコメ報告) (プラン最終案の確認)											
													●第9期第1回会議 (プラン案の検討)											
													★プラン完成											
	次期産業振興プラン検討 専門部会（仮）																							
産業実態 調査	●委託事業者選定																							
	●調査結果分析																							
	調査準備												アンケート実施											
													★調査報告書完成											
													関係団体ヒアリング調査											
産業振興 プラン	現行プランの検証・分析																							
													プラン骨子の検討・作成											
													プラン素案の検討・作成											
													プラン原案の検討・作成											
													パブ コメ											
													★プラン完成											